

株式会社アール・ケアが運営する10カ所の通所介護事業所における デイサービスをご利用の皆様、あるいは、そのご家族の方へ

岡山大学大学院保健学研究科では、株式会社アール・ケアとの共同研究で、デイサービスにおける身体機能向上の研究を実施しております。対象者はこれまでにアール・ケアのデイサービスを一定期間利用された方（延べ約8千人）を対象とします。なお、氏名等の個人情報は、アール・ケアより予め消去されたデータが、当科に提供されております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方、あるいは、そのご家族の方でデイサービスに伴う資料を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記にお問い合わせ下さい。

研究の名称

介護事業所の利用者に対するリハビリテーション・プログラムによる身体機能へ影響

研究責任者

岡山大学学術研究院保健学域・教授
中塚幹也

本研究の目的

デイサービスで実施しているリハビリテーション・プログラムが利用者の運動機能の向上や維持に有効であるかを調査すること

調査データ

該当期間 2012年12月1日～2021年9月30日までの情報を調査対象とする。

研究期間

倫理委員会承認後～2026年9月30日

研究の方法（使用する情報等）

●方法

リハビリテーションを受けた利用者の身体機能が回復したか、あるいは維持ができているかを評価するため、9項目の運動機能を測定値の変化を解析する。なお、本研究は、アール・ケアより資金の提供を受けて実施される。

●対象

上記期間内に(株)アール・ケアが運営する10カ所の通所介護事業所を週1回以上の頻度で利用し、リハビリテーションを受けた利用者

●使用する情報

デイサービスの記録に記載のある背景

年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、要介護度

運動機能検査のデータ

直線の10mの歩行時間、その際の歩幅、TUG（椅坐位から立ち上がり、3m先のコーンを回って戻り、再び椅坐位となるまでの時間）、FRT（立位にて両上肢を90度前方拳上。そのまま指先を前方に移動できる最大距離）、ペグボード（聞き手を使用し、20個の穴が開いたボードの中に20本の棒を立てるまでにかかった時間）、反応時間（1m程度離れたディスプレイを注視し、1分間に

ランダムに 10 回映し出されるマークが映った瞬間に、手持ちのボタンを押し、10 回の平均時間を算出)、握力、重心動揺、IOT（体幹、右上肢、左上肢、右下肢、左下肢の 5 カ所の筋量、脂肪量、水分量を測定）等

外部への情報の提供

この研究に使用する情報は、解析のため、以下の委託先に提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

三宅おおふくクリニック，Medical Data Labo

情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 10 年間、岡山大学大学院保健学研究科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

本研究の結果は、(株)アール・ケアにおけるデイサービスに関する広報などに使用される可能性があります。広報の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は含まれません。

個人情報の取り扱い

利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

お問い合わせ先

担当 岡山大学学術研究院保健学域 中塚幹也
電話 086-235-6538（平日 9 時～15 時）

<研究組織>

主管機関名 岡山大学大学院保健学研究科

研究代表者 岡山大学学術研究院保健学域 中塚幹也

既存情報の提供のみを行う機関 (株)アール・ケア

情報解析を行う機関 三宅おおふくクリニック，Medical Data Labo